

さらに前へ。

KAWAUCHI 130

川内村ゆかりの方から お祝いのメッセージ

さらに前へ。KAWAUCHI 130

さらに前へ。KAWAUCHI 130

SPECIAL MESSAGE KAWAUCHI 130TH
01

川内村村制施行130周年、誠におめでとうございます。

川内村におかれましては、豊かな自然と地域資源をいかし、農林畜産業を中心に発展を続けてこられました。東日本大震災から八年半が経過し、全村避難という極めて困難な状況から、村民の皆様の懸命な御努力により、着実に復興への歩みを進めておられますことに、心から敬意を表します。

この春、村を訪問した際には、故郷を思い、川内村で夢を追い続ける若者たちの姿があり、復興が前進していることを改めて実感いたしました。

村制施行130周年を新たな契機として、「住民一人一人が希望を持って暮らし、多くの人々を引きつける魅力ある村」の実現に向け、共に取り組んでまいりましょう。



福島県知事
内堀 雅雄 氏

SPECIAL MESSAGE KAWAUCHI 130TH
02



ミュージシャン(TOKYO No.1 SOUL SET / THE ZOOT16 / 猪苗代湖ズ) / 川内村ふるさと大使
渡辺 俊美 氏

オヤジは初三、おふくろはカツ子。まだ毛戸分校があった頃、渡辺家の長男として産まれました。長福寺の矢内俊晃さんから名前を付けてもらい、「俊」という素敵な「名」をいただきました。小さい頃は春は山菜採り、夏は川釣り、秋にはキノコ採り、冬は雪遊び、、、遊んでばかりいました。川内村村制130年の歴史の中で僕はちっぽけな存在ではありますが、2011年の震災後、誰よりも川内村の名曲「川内小唄」を日本全国様々の所で歌っている人間と自負しております。これからも、故郷・川内を愛し、我が子(2歳の男と5歳の娘)を自立させた後、静かに戻るつもりです。その時は天山文庫の管理人にさせていただきます。おめでとうございます!

SPECIAL MESSAGE KAWAUCHI 130TH
04



俳優/川内村ふるさと大使
横田 龍儀 氏

川内村誕生130周年おめでとうございます!僕は川内村で生まれ育ったことを本当に誇りに思っています。大人になり東京で暮らすようになり強く感じるのが、人と人との繋がりがなによりも大事なのだと感じます。川内村にいた頃は、みんなが家族のようにお互い支え合って生きているのを感じ、そのおかげで、自分は人のために何かをしたい。誰かに影響を与えられる存在になりたいと思い、この「俳優」という職業につこうと思いました。この考えに至ることが出来たのは、川内村で生まれ育つことが出来たからだと思います。これからはふるさと大使に任命して頂いたこともありますので、たくさんの方にこの川内村の魅力を伝えていけるように、そして川内村に恩を返していけるように精一杯努力します。

130周年。本当におめでとうございます!

川内村が昭和・平成の大合併や東日本大震災を乗り越えて、村制施行130周年を迎えたことに対し、心より、お祝いを申し上げます。

私と川内村との縁は2013年12月の川内ドンドン村づくりにゲストとして呼んで頂いたことから始まりました。東日本大震災後、新聞記事やニュースで川内の文字を目にする度に他人事とは思えませんでしたので、川内村も私と同じように親近感を抱いてくれたことを知り、嬉しく思いました。その際に子ども達とジョギングを通じた交流を行い、その時に走った道が「川内優輝ロード」と後に名付けられることとなりました。

川内村とせっかくできた縁を大事にしたいと思いましたが、当時は競技と仕事を両立する市民ランナーであったのでマラソン以外のイベントに参加することは難しく、「いつかマラソン大会が川内で始まったら、また川内を訪れます」と川内村のみなさんと約束するだけにとどまりました。

その後、川内村を訪れる機会は2年以上ありませんでしたが、2016年から小学生の発案により、川内優輝ロードをコースに含む川内の郷かえるマラソンが始まりました。そして、2013年の約束どおり、ゲストランナーとして、川内村は私だけでなく、家族全員を招待してくれました。それ以来、毎年マラソンに合わせて、川内

村を訪れることが川内家の恒例行事となりました。また、川内の郷かえるマラソンが縁で、プロランナー転向後のメインスポンサー兼所属先のあいおいニッセイ同和損害保険株式会社とも巡り会うことができました。そして、2019年4月に川内の郷かえるマラソンで、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社とマラソンキャラバンを開始し、初年度から10ヶ所を超える場所で実施される全国規模の取り組みとなっています。

同じ漢字の縁から始まり、マラソンキャラバン実施へと繋がる縁。助け、助けられ、励まし、励まされる、不思議な縁が川内にはありました。平成の大合併などを経て、日本国内にいくつかあった川内という市町村は川内村だけとなりました。そうした意味でも日本で唯一の同じ「川内」という自治体の川内村をこれからも川内の郷かえるマラソンを中心に10年、20年先まで応援していきたいと思えます。

SPECIAL MESSAGE KAWAUCHI 130TH
03



マラソンランナー/
川内村ふるさと大使
川内 優輝 氏